

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >

今月は…『RSウイルス』です

RSウイルスと聞くと、冬に流行するイメージがありませんか？
その通りですが、一年を通して菌は身近にあり、今年は季節はずれに夏でも流行しているんです。

RSウイルスは一生のうちに何度も感染を繰り返すウイルスで、とても身近にいます。
ほとんどの子どもが2歳までに一度は感染するといわれています。
大きくなると軽い鼻かぜ程度でおさまることがほとんどですが、
乳幼児期や小さく産まれたお子さんなどは、重症化しやすいので注意が必要です。



乳幼児に感染しないよう配慮を

< 感染経路 >

咳やくしゃみのしぶきが飛んで感染する**飛沫感染**と、
よだれや鼻水がついた手指やおもちゃ、ドアノブなどを介して
感染する**接触感染**が、主な感染経路となります。
症状が出るまでの潜伏期間は約2～8日です。



うがい



手洗い



マスク

< 症状 >

発熱・咳・鼻水など風邪の症状で始まりますが、しだいに咳が
ひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな呼吸になってきます。



< 治療 >

特効薬などはなく、症状を和らげる対症療法となります。

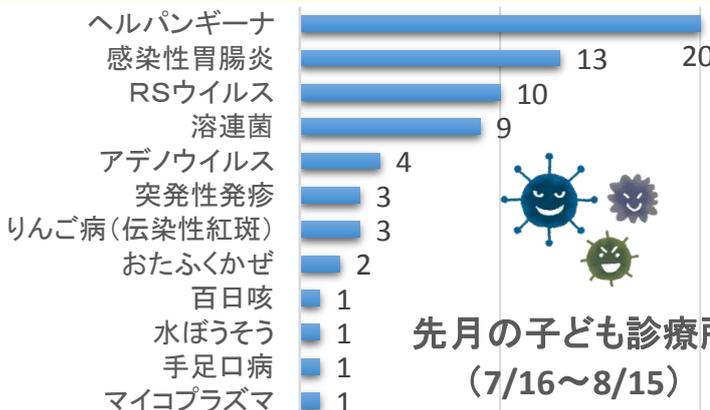
< こんなときにはもう一度受診しましょう >

- * ゼイゼイ・ヒューヒューの音が強く、息苦しそう
- * 胸やお腹をペコペコさせて息をしている
- * 顔色がよくない
- * 母乳やミルクの飲みが悪い



吸入が必要な場合には
吸入器の貸し出し
などもしています。

< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・やはり夏風邪のヘルパンギーナが多いですね。他、RSウイルスもこの時期にしては目立ちます。
- ・百日咳が出ました。近隣では流行しているとの情報もあります。長引く咳には注意が必要です！

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・検査は陰性でも、高熱の続くお子さんが目立ちます。
- ・のどの痛みやだるさから食欲が低下しているお子さんも多いです。

< 子どもの靴選び >



これからの行楽シーズン、靴を買い換える方もいるのではないのでしょうか？
子どもの足は発育が早いので、いつの間にかサイズが小さくなっていたり、
どうせすぐ履けなくなるから…と、大きめのサイズを選んでいませんか？
また、サイズは同じでもメーカーにより形は様々ですね。
そこで今回は、靴選びのポイントをまとめてみました。

Point 1

★つま先の部分が広く、指が靴の中で自由に動くもの★

子どもは指で地面をつかむように歩くので、
指を動かせる余裕が必要。
また、指を十分に動かしていないと、

Point 2

★かかと周りがしっかりしているもの★

靴の中で動かないようにホールド感があると、
安定した歩行が可能になります。

Point 3

★靴底が指の付け根部分で曲がるもの★

靴底が硬いと前に蹴り出しが上手くできません。
サイズが大きくても位置がずれてしまいます。



Point 4

★甲の部分が足にフィットしているもの★

甲をしっかり締めることで自然な歩行ができます。
調節できるマジックテープやひものタイプを。

Point 5

★つま先が少し反りあがっているもの★

子どもの足はまだ未発達なため、べた足で歩きます。
そのため、反りがないとつまづきやすくなります。



間違った靴を選ぶと、足はもちろん膝や腰の病気につながったり、内臓の働きに影響を与えることもあるそうです。足の健康は体や頭脳の発育のためにも重要です。歩いたり走ったり、運動することで筋肉が収縮と緩和を繰り返し、血液の循環を助けます。子どもの成長段階によって歩き方や行動範囲が変わってきます。その時期にあった靴選びを心がけてあげたいですね。

<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

Teacher of the painter

絵を描くのが上手なRちゃん。入室時にスーホの白い馬を描いて見せてくれました。

「先生も描いて！」と言われ「絵を描くの苦手なんだけどな…」と思いながら描きはじめると

「ふっふうん…」と笑いをこらえる声が…。あまりにも不憫に思ったのか、

「脚はこうやって描いた方がいいよ！」「しっぽはこんな感じ！」と直してくれたりして、

先生のように描き方を教えてくれました。

得意なことがあるのって、本当に素敵ですね。

これからも色々な絵をたくさん描いて、またみんなに教えてね♪ (N)



保育室のご利用は 事前の登録が必要です！

新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8:30～17:30）

TEL 042-521-2777

